大連



南滿洲鐵道株式會社

大連

南滿洲鐵道株式會社

に海上の船から物語がしいうちにも諧調ある樂音が傳はるなど、特に夕方のこの波止場の氣分には情味の豐かなものがある。視克による仲繼貿易は、汽船貿易と竝んで仲々に侮り難く、年額十五萬噸、七百二十萬圓に達してゐる。仕向地の大半は滿洲各地で、山東・江蘇・直隷など之に次ぎ、仕向品には豆油及び滿洲特産物が多い。

市内は奥町のあたり、風呂・芝居・料理に「滿洲情調」を味ふの興あることであるが、その特異にして且興味あるものに觸れんとせば、一に社會相の縮圖として鳴つてゐる西崗子を訪れるに越したことはない。中にも小盗兒市場とさへ言はるゝ露天市場からは盜難品の出ることがあり、日本人と滿洲人との生活程度の大きな差から生じた交換經濟の奇現象が見へる。此處は啻に滿洲の日常生活必需品のマーケットであるのみならず、彼等下層民にとつては又となき民衆的娯樂地で、梨園(劇場)書館(妓樓)は元より寄席・見世物小屋・奇術師さては覗きからくり等、口腹の慾を充たすと共にこよなき慰安を得せしむるやうになつてゐるのである。因に全市街中、滿洲國人の大集團は西崗子の全街を始め寺兒溝、千代田町附近、奥町監部通りあたりにあたつて、鮮かに民族的色彩を強めて「滿洲情緒」をあやなしてゐる。

公園

大連市は綠山碧水、それ自體がすでに公園であり、一幅の油繪であるが、惠まれたる大連市は更に幾多の公園をもつ。

中央公園は最近まで西公園、露治時代には猛虎を飼養して虎公園とも呼ばれた公園であるが、現今は常盤橋の南から綠山にかけて五十萬坪、山あり谷あり池あり、幽翠なる林に馬車を馳れば、外國の公園を行くの趣がある。園内の高臺に聳ゆる忠靈塔は、日露戰役に於ける奉天以南の戰死將卒四千の遺灰を祀り、毎年五月と九月とに盛大なる招魂祭が行はれる。尚園内には滿鐵・實業兩野球グラウンド・弓場・馬場・庭球場等の各種スポーツ場を持ち、就中野球グラウンドは各々觀衆三萬を收容し、かの露家屯に一萬坪、工費三十二萬圓を投じ、五萬の收容力を有する模範的な**大連運動場**と相對して大連スポーツ界に氣を吐いてゐる。

中央公園に隣接する高地、伏見臺にある**電氣遊園**は、人工的有料公園で、メリーゴーラウンドや植物温室、小動物の檻、圖書館なども備り、園の高臺から俯瞰すれば大連市は一眸のうちに集る。なほ電氣遊園は星ヶ浦と共に大連に於ける櫻の名所として市民の行樂地でもある。露西亞町にある**北公園**は露治時代からのもので、兒童の

遊戲に適した設備が多い。

星ヶ浦

大連近郊の勝景地としては、普通に星ヶ浦と老虎灘とが擧げられてゐる。星ヶ浦は纖細瀬戸内海を思はす女性的の風光に於て、老虎灘は朴訥なる野人の風趣をもつ男性美を以て謳はれ、共に滿洲の眺望としても亦有名である。

滿洲に於ける唯一の冠絶した大公園星ヶ浦は、市の西南里餘、市内電車は此處まで延びて、黑石礁を終點とする。大連富士の山麓十五萬坪のゴルフリンクスの綠なす芝生と、數個の繪のやうな小島を配した群青の海との間にひらけた三十三萬坪の遊園地は、滿鐵會社の經營。初代滿鐵總裁故後藤新平伯の銅像から南面して海中に突き出た岬角――霞ヶ丘を界として、東はヤマトホテルとその別莊を有する曙の濱、西は料亭「星の家」のある黄昏の濱に別れ、共に大きく弧を描いた長汀曲浦、波に洗はれた小石が白く美しく敷かれ、老虎灘の靜浦・旅順線の夏家河子と共に理想的な海水浴場を形づくつてゐる。霞ヶ丘の四阿に立てば、右方岬角の彼方には黑石礁の水泳場、左方やゝ遠くには天の川臨海浴場、これら星ヶ浦といふ地名を初め、天ノ川も園内にある雲井とよぶ井戸も皆、その昔天からこの濱に降つた星が暗礁となつたと稱はれる黑石礁屯の傳説に因んだ名である。

[illegible]か頭を廻らして背面すれば、山麓電車道に沿ふて坦々砥の如き道路が、大連より來り、黑石礁方面へ消えてゐるのを見るであらう。香港の島巡りよりも快よいと言はれ、黑石礁・凌水寺・小平島・龍王塘・玉の浦等の「旅大八景」は轉瞬去來、大連より自動車を馳れば五十分足らずで達する。因みに上記の凌水寺・小平島・龍王塘などは、亦恰好の遠足行樂地として謳はれてゐる。(旅大道路に關しては當課發行の都市案内「旅順」を參照されたい)

老虎灘と傅家庄

老虎灘は常盤橋から南する市内電車の終點にある。老虎空に嘯くに似た地貌の奇に因んで巧に附けられた地名で、總ての線は星ヶ浦のそれに比して荒く、景觀の奇と釣魚と滑らかな海水浴とに普く知られて清遊地となつてゐる。金鱗躍る月明に舟を傭つて乘り出せば、魚は忽ち籠に滿ち、風は涼冷にして酒杯を呼ぶに相應しい。かの大陸特有、四五尺にも及ぶ月は、老虎に映えて莊重の氣はいやが上にも横溢する。此處は又邦人漁業者の根據地でもある。老虎灘への途中、桃源臺から右へ二十餘町、田舍ぢみた馬車鐵道(片道十五錢)に搖られて行けば三十分、傅家庄の海岸へ出る。未だ普く知られてゐないが海水浴場として清いこと他にその比を見ない。

ダルニー時代

以上今日の大連を觀じ來つて、茲に二十數年の歲月を遡つたダルニー時代を忍ぶのも無益ではなからう。露西亞が歐洲方面に進出の途を斷たれて、一八九八年(明治三十一年)に締結した露清條約により、極東の不凍港として最初に選定される以前の此の地は、約十七戸の支那部落東青泥窪・約二十戸の西青泥窪・十餘戸の漁村黑咀子及十二三戸の西崗子が山神廟や龍王廟を取卷きながら散在してゐた荒地に過ぎず、露西亞は此處に市名「ダーリニー(遠方の義)」を附して市街創設を企てたのである。第一期の計畫として一千萬留の巨資が此地に注入され、更に三千萬留を投資する第二期に進む當初、日露の國交斷絶し、遂に大連は何等戰禍を蒙る事はなかつたが、人口四萬に達し、都市計畫の一端を實現したばかりで、之をわが國が繼承したのである。即ち現在の通稱露西亞町がそれであつて、これは既に當時立派に出來あがつてゐたが、他に百戸に滿たない民家があり、埠頭の如きも僅に一埠頭と捨石工事とだけで、殆んど都市としては言ふに足らぬ状況であつた。それを往時露西亞が最初に企畫した以上に完成せしめて、大都市の窮らす限りなき進展を外的にも内的にも逐次具現しつゝある今日の市勢に見比べるならば、全く隔世の感なきを得ないであらう。

今日市内の處々に殘存する露治時代の主なる遺物としては、前述したやうに露西亞町の殆んど全般の建築物、その他に滿鐵本社(東公園町)・大連稅關(山縣通)・海務協會(寺内通)・警察署(大廣場)・土佐町に殘る元露國監獄の建物・乃木町の六角堂・北公園内の丸太建等があつて當時の面影を偲ぶよすがとなつてゐるが、尚老虎灘街道の王家屯に行けば希臘正教の禮拜堂があり、その露人の墓域には日露役にあたり、大連灣口に水雷を敷設せんとして誤つて自沈したエセニイ號乘組員の墓碑など、一つの史料となつて現存してゐる。

視察に就て

●**徑路** 滿洲資源館―山縣通―埠頭―油房―華工收容所(碧山莊)―滿鐵本社前―大廣場―中央公園―露天市場―星ヶ浦

右は普通に選ばれる視察の一日の行程であるが、時間の餘裕又は視察の目的により左記の箇所をも適宜斟酌されるがよい。

大連重要物產取引所・錢鈔取引所・工業博物館・西崗子公學堂・露西亞町埠頭・電氣遊園・遊覽道路・老虎灘

●**市内の交通機關** 市内の交通機關としては電車・自動車・乘合自動車・露治時代の遺物たる馬車並人力車を擧げることが出來る。電車は全線片道五錢、乘合自動車は一區五錢、タクシーは四人乘市内

一圓五十錢、一時間二圓半、乘合自動車は旅順行一圓、金州行五十錢、馬車は二人乘一區(十町以内)十四錢(三區以上一區又は未滿を增す毎に十錢を加ふ)半日二圓四十錢、一日二圓八十錢、人力車は馬車の半額である。因に馬車は一臺の料金で三人迄は樂に乘れる。

●**通貨** 關東州内は汎く日本貨幣、特に朝鮮銀行券が廣く用ひられてゐる。

●**土產** 支那物品(玩具、文房具、反物、茶、菓類、羅紗)菓子、寶石、洋酒、硝子、陶磁器、煙草、寫眞帖、陶瓷器

●**要塞地帶** 大連及その近郊は要塞地帶で、撮影・模寫・測量・模造鎔取・航空等は、要塞司令官の許可を要することになつてゐるから、旅行者は特に注意すべきである。

●**視察上の便宜**を得るには、大連驛鐵道案内所(電話四〇〇六)ジャパン・ツーリスト・ビユーロー大連案内所(電話五五五四番 四七一三番)が伊勢町と浪速町との角にあり、紀伊町に滿洲文化協會(電三八〇五)他に東公園町滿鐵本社内の營業課宣傳係(電二〇二三六五)がある。

旅館

●滿鐵直營大連**ヤマトホテル** 市の中心大廣場にある高壯優雅なルネッサンス式建築、善美を盡した施設は遠東洋に於ける代表的のものである。(歐式)三圓―三〇圓(米式)八圓―三五圓、食事料(洋食)朝一圓、晝二圓、夕二圓半

●滿鐵直營星ヶ浦**ヤマトホテル** 郊外星ヶ浦遊園、鬱翠掩住の高臺にあり、避暑に東洋有數のリゾートホテルである。(歐式)四圓半―一二圓(米式)一〇圓半―一八圓

旅館名	所在地	室料・宿泊料		晝食料
遼東ホテル	大山通	室料	三.〇〇円以上	一.五〇円
花園ホテル	信濃町	宿泊料	四.〇〇同	一.五〇以上
天滿屋ホテル	常盤橋	室料	二.五〇同	一.〇〇
ナニワホテル	伊勢町	同	二.〇〇同	一.〇〇
春田旅館	監部通	宿泊料	四.〇〇同	一.〇〇以上
磐城ホテル	監部通	同	四.〇〇同	一.〇〇同
鐵西旅館	信濃町	同	四.〇〇同	一.〇〇同
東洋ホテル	伊勢町	同	四.〇〇同	一.〇〇同
南滿ホテル	東鄕町	同	四.〇〇同	一.〇〇同
東旅館	信濃町	同	四.〇〇同	一.〇〇同
日本橋ホテル	大山通	同	四.〇〇同	一.〇〇同
東鄕旅館	信濃町	同	四.〇〇同	一.〇〇同
錦水ホテル	信濃町	同	四.〇〇同	一.〇〇同

茶代不要、使用人心付は支拂額の一割乃至二割

左記に於て朝鮮・滿洲に關する旅行・通關・貨物等の御質問・並びに事情講演・活動寫眞の御需めに應じます。

東京鮮滿案內所　丸ノ内ビルデイング內　電丸ノ内(自二三一一 至二三一五)

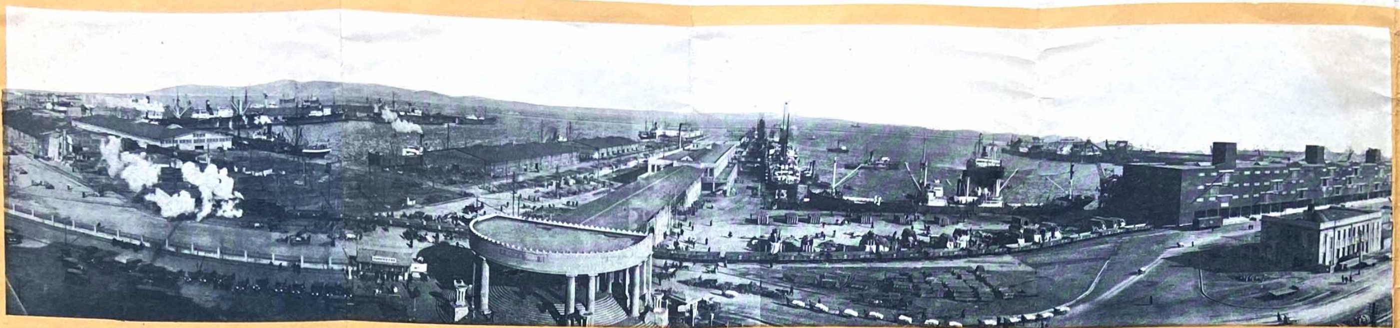
大阪鮮滿案內所　東區堺筋安土町　電本町(一一七〇〇 一一七〇一)

下關鮮滿案內所　下關驛前　電(一一九六二 一二五七)

八年五月(營業課宣傳係)二萬



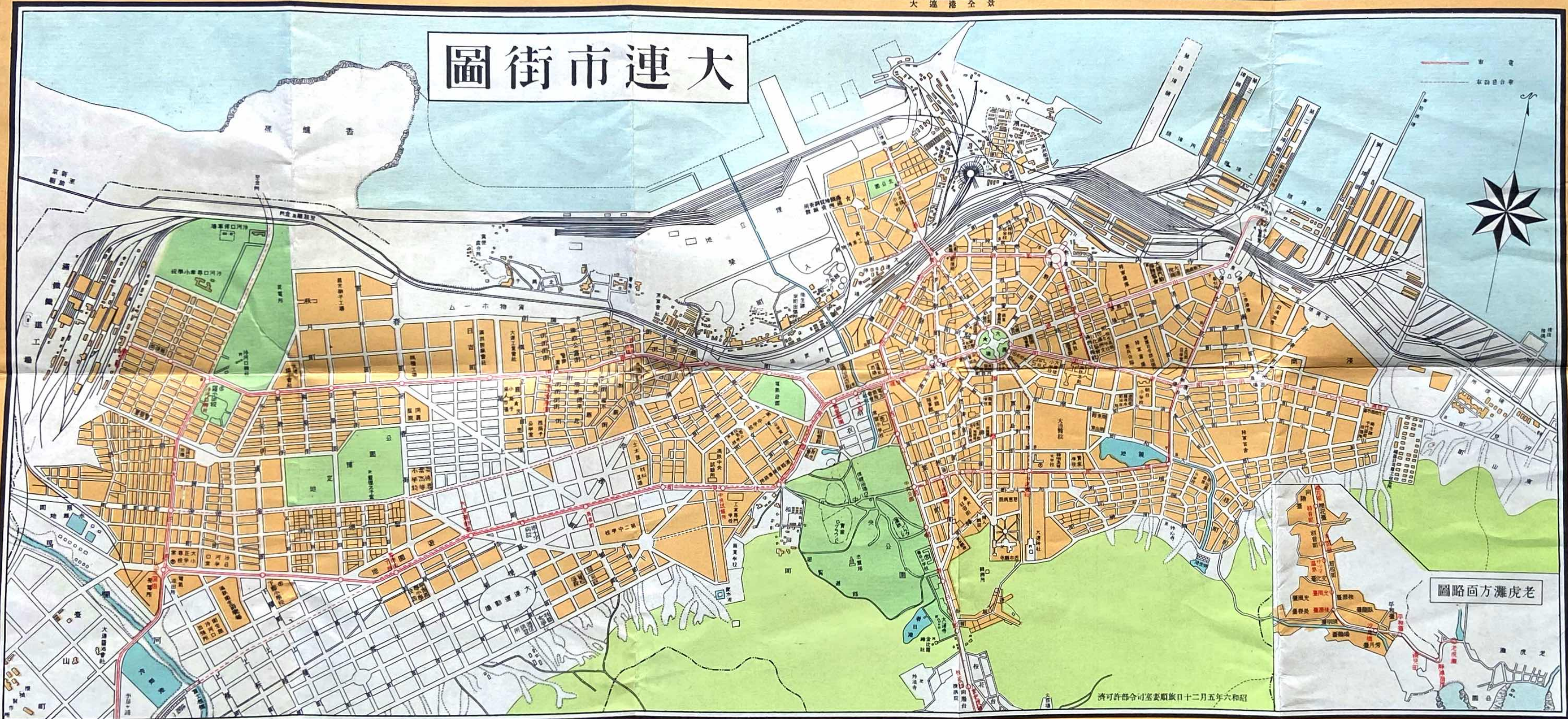
大廣場ヤマトホテル



大連港全景



星ヶ浦





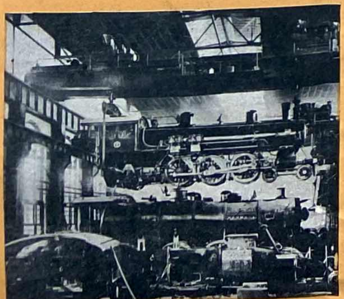
連鎖商店街



老虎灘



滿洲資源館



鐵道工場



大連運動場



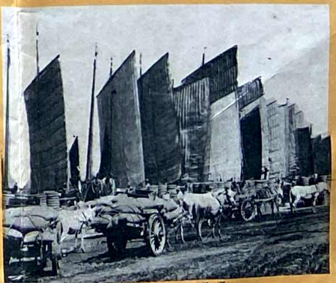
滿鐵本社



浪速町通

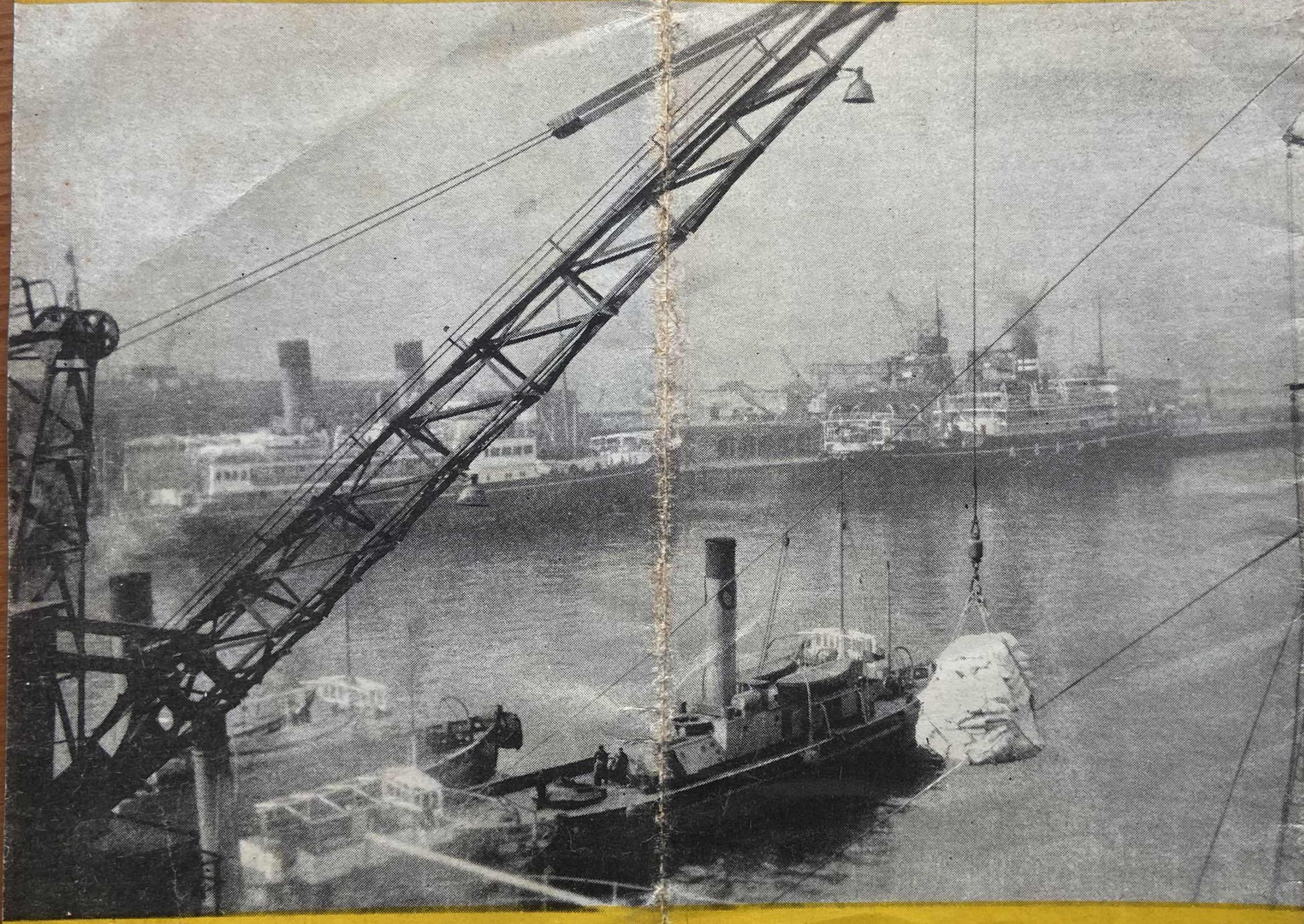


中央公園



露西亞町碼頭

大連



南滿洲鉄道株式會社

大連

南滿洲鉄道株式會社

●**通貨** 關東州內は汎く日本貨幣、特に朝鮮銀行券が廣く用ひられてゐる。

●**土産** 支那製品（玩具、文房具、反物、茶、素麵、麻雀）菓子、寶石、洋酒、硝子並陶磁器、煙草、寫眞機、望遠鏡

●**要塞地帶** 大連及その近郊は要塞地帶で、撮影・模寫・測量・模造鎔取・航空等は、要塞司令官の許可を要することになつてゐるから、旅行者は特に注意すべきである。

●**視察上の便宜** を得るには、大連驛鐵道案內所（電話四〇〇六）ジャパン・ツーリスト・ビューロー大連案內所（電話五五五四 四七一三番）が伊勢町と浪速町との角にあり、紀伊町に滿洲文化協會（電三八〇五）他に東公園町滿鐵本社內の營業課宣傳係（電二〇二三六五）がある。

旅館

●**滿鐵直營大連ヤマトホテル** 市の中心大廣場にある高壯優雅なルネツサンス式建築、善美を盡した施設は滿東洋に於ける代表的のものである。（歐式）三圓―三〇圓（米式）八圓―三五圓、食事料（洋食）朝一圓、晝二圓、夕二圓半

●**滿鐵直營星ケ浦ヤマトホテル** 郊外星ケ浦海濱、眺望絕佳の高臺にあり、避暑、避寒に東洋有數のリゾートホテルである。（歐式）四圓半―一二圓（米式）一〇圓半―一八圓

ナニワホテル	伊勢町	同	二・〇〇同	一・〇〇
春田旅館	監部通	宿泊料	四・〇〇同	一・〇〇以上
磐城ホテル	監部通	同	四・〇〇同	一・〇〇同
鐵西旅館	信濃町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
東洋ホテル	伊勢町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
南滿ホテル	東鄕町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
東旅館	信濃町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
日本橋ホテル	大山通	同	四・〇〇同	一・〇〇同
東鄕旅館	信濃町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
錦水ホテル	信濃町	同	四・〇〇同	一・〇〇同

茶代不要、使用人心付は支拂額の一割乃至二割

左記に於て**朝鮮・滿洲に關する**旅行・通關・貨物等の御質問・並びに事情講演・活動寫眞の御需めに應じます。

東京鮮滿案內所 丸ノ內ビルデイング內 電丸ノ內（自三一三一 至三一三五）

大阪鮮滿案內所 東區堺筋安土町 電本町（一七〇〇 一七〇一）

下關鮮滿案內所 下關驛前 電（一九六二 一二五七）

八年五月（營業課宣傳係）二萬

大連 【昭和八年版】

大連港

わが大連港は、實に大陸の關門―歐亞連絡の要衝であり、又新興滿洲國の大玄關である。ここに起伏する一波萬波は、脈々としてわが滿洲勢力の一弛一張を物語るものに他ならない。埠頭の施設が、大連港の價値を裏書するものであり、大連港の消長が、滿洲に於けるわが經濟的活動のバロメーターとなることに關しては、今更呶々を要しまい。まことに大連港の背後地滿洲は、その面積日本の二倍半强、七萬六千餘方里を有し、未墾地一千二百萬町歩、森林百五十億石、石炭の埋藏量撫順のみにて九億噸、鐵鑛が鞍山のみにて三億噸、その他地上地下の物質は無盡藏である。故に大連の埠頭は、究竟するところ、農業國にして原料國たる本質を有する滿洲の邦人活動に、一脈の生命を附與するものと言ふべく、事實滿洲産業の開發を刺戟すること甚大である。今、大連港の貿易額を見るに、確實なる漸進的趨向を示し開港當初の明治四十一年の輸出入七十萬七千噸に對し、昭和七年は十倍を示し、年々平均三十二萬噸の增加率である。輸出品の重なるものは、滿洲の特産たる大豆・豆粕・豆油・高粱・石炭・鐵及鐵製品・柞蠶絲の如き未製の原料品、輸入品の重なるものは麥粉・綿織物・麻袋・鐵及鋼・機械機器等である。

然らばこれらを呑吐する港灣の施設は如何であらうか。三千九百八十米の防波堤に包擁された水面積三百十萬七千平方米、繫船岸壁の全長五千米、水深八米より十三米に及び、同時に三千噸乃至二萬噸級の船舶四十隻の繫船能力を持つ。更に第四埠頭完成の曉は、尙延長すること千二百米となる。陸上設備としては埠頭構內全面積約六百二十一萬平方米中に、倉庫及上屋七十二棟の三十七萬三千平方米、雨量の少ないのを利用して設けられた野積保管場が約三十四萬七千平方米、その間に敷設された荷繰用線路の延長は、百二十粁の長きに及び、毎年十一月から翌年五月に至る輸送繁忙期に、奥地から此の港に動向する農産物の量だけでも實に夥しいものがある。かくて昭和六年度、滿洲總貿易額の約七割を占め、一箇年約四千隻、千百萬噸の入港船舶、輸入八十萬噸・九千八百萬圓、輸出六百萬噸・一億八千八百萬圓、合計七百萬噸・二億八千六百萬圓といふ厖大なる貨物の呑吐であるが、尙最近に至り、埠頭の北方對岸甘井子に、一時間千八百噸の船積能力を有する石炭專用埠頭の完成を見、益々

その機能を高めてゐるが、更に周水子一帶の海面が、築港利用せられた曉には大連灣の有する世界的意義は、蓋し益々人の意表に出づるものがあるであらう。

埠頭に上陸し、又埠頭より乘船する旅客が、何人も吃驚讃嘆する處のものは、工費七十萬圓を投じ、收容能力五千人、船車連絡の設備を有する船客待合所である。宜なる哉、これは大連埠頭が世界一と誇るところのもの。尙又人力より機械力へと進展しつゝある埠頭荷役の例としては、上記甘井子埠頭を初め、積込能力一時間二百噸を有する給炭船撫順丸があり、船積能力一時間六百噸を有するカーダンパー式石炭積込機がある。とは言へ一日平均七八千人の出働を見る苦力は、總てこれ福昌華工株式會社の請負であり、その荷役勞働の狀態は、豆粕混合保管倉庫竝に大豆の野積場など〻共に注目すべきものとなつてゐる。尙右の他豆油・重油及石油其他危險品揚積用として二本の寺兒溝棧橋があり、尙鑛石其他撒貨物荷役のために濱町埠頭がある。

以上、埠頭に於ける諸般の事務を統轄する、埠頭事務所の巨大なる七層樓閣に立てば、これら埠頭の諸相は、さながら地圖について指すが如く、又大連の鳥瞰にこよなき處でもある。

市街の展望

滿洲の氣候風土と地方的材料と國際的都市美とに適合した、高壯な煉瓦造りの建築に、充分な異國情緒を感じさせる大連市街の展望は、埠頭事務所のルーフか、市の背部をなす若草山の觀測所か、或は春日町から松山町まで一哩に亙る綠山遊覽道路が最も好適であらう。綠山の中腹に立てば、脚下に綠の展がりを見せた中央公園には、宏壯で多面的な忠靈塔が日射に映え、さては兩脇に抱えたグラウンド、淸洒な電氣遊園の境內も間近かに、その下に展がりを見せてゐるのは、大連が誇とする理想的商業地區・連鎖商店街、や〻遠く濱町發電所に聳ゆる大煙突は嘗ては東洋一を誇つてゐたもの、大連醫院は巨城とも見まがふべく、その先に見ゆる七層樓の大厦は埠頭事務所、防波堤の內港には四條の大埠頭が汽船を横たへ、沖待船の何隻かもかすかな煙をあげてゐる。さうした歐風都市の諸相のうちにあつて所々に高大な甍を混えてゐるのは寺院の屋根である。はるかに眼路をやれば東北の方にあたつて六海里、大連灣の對岸に建つは柳樹屯無線電信の鐵柱、附近甘井子埠頭のあたりは各種施設の群がりを見せてゐる。その背後にあたつて高く雲表に聳え立つは金州大和尙山の繪姿である。

再び視野をせばめて眼下の近江町から、南山麓と漸次に遠く、山

裾一帶に連なる日出町までの赤い屋根々々は滿鐵社宅で、更に市の東端に近く千代田廣場附近には工場群を見るべく、幾多の油房から吐出される煤煙は、冬ならば空を低くめて濁りを見せる。

市街

市街はアカシヤの街とも呼びたい程、街路の並木にアカシヤ多く、初夏は白い花の群りに風さへ香る。常に手入の行屆いたタール・マカダム道路の淸爽さは、この市を訪れた人達に好感を與へずには措かないであらう。かうした綠樹の美と道路の美とに惠まれた大連市街は、植民都市としての進取的淸新さに潑剌とし、その大小七個の廣場を中心として、其處から蜘蛛網狀に街路を放射せしめ[illegible]る。かくて事實上大連の市心をなしてゐる此處は、政治的にも經濟的にも亦市の中心をなしてゐるのである。大廣場の中央には「里程標」があつて、滿洲に於ける距離の歸着點となり、又ヤマトホテル前には第一次都督故大島義昌大將の銅像が立つてゐる。それらを取り卷いて芝草の綠も晴々しく、花樹常盤樹に趣を添へ、季節の花なども飾られるなど、大廣場はそれ自體がまた美しい一つの公園である。尙また其の上に埠頭方面への山縣通り、日本橋を經て大連驛、露西亞町方面への大山通り、滿鐵本社前を寺兒溝方面への東公園町通り、西廣場を貫き常盤橋を經て西部大連への西通りなど、合計十

つきものとなつてゐる。尙[illegible]其他危險品搬移用として二本の寺兒溝棧橋があり、尙鑛石其他撒貨物荷役のために濱町埠頭がある。

以上、埠頭に於ける諸般の事務を統轄する、埠頭事務所の巨大なる七層樓閣に立てば、これら埠頭の諸相は、さながら地圖について指すが如く、又大連の鳥瞰によなき處でもある。

さうした國際都市の諸相のうちにあつて所々に高大な甍を混えてゐるのは寺院の屋根である。はるかに眼路をやれば東北の方にあたつて六海里、大連灣の對岸に建つは柳樹屯無線電信の鐵柱、附近甘井子埠頭のあたりは各種施設の群がりを見せてゐる。その背後にあたつて高く雲表に聳え立つは金州大和尙山の繪姿である。

再び視野をせばめて眼下の近江町から、南山麓と漸次に遠く、山

裾一帶に連なる日出町までの赤い屋根々々は滿鐵社宅で、更に市の東端に近く千代田廣場附近には工場群を見るべく、幾多の油房から吐出される煤煙は、多ならば空を低くめて濁りを見せる。

市街

市街はアカシヤの街とも呼びたい程、街路の並木にアカシヤ多く、初夏は白い花の群りに風さへ香る。常に手入の行屆いたタール・マカダム道路の淸爽さは、この市を訪れた人達に好感を與へずには措かないであらう。かうした綠樹の美と道路の美とに惠まれた大連市街は、植民都市としての進取的淸新さに潑剌とし、その大小七個の廣場を中心として、其處から蜘蛛網狀に街路を放射せしめた特相に、近代的文化都市の匂ひを高め、就中大廣場はあらゆる意味に於て、その模範的態形であり、同時にわが大連の市心をもなしてゐるのである。一體この放射街路は、實はその範を巴里にとつた露西亞のプランをわが國に於て踏襲したものである。

大廣場

周圍には民政署・市役所・地方法院・警察署・遞信局・英國領事館・ヤマトホテルの他、正金・鮮銀及び中國銀行があり、少し離れて赤旗飜る勞農領事館、ヤマトホテルの背面にあたつて巨城のやうに聳え立つてゐるのは大連醫院である。かくて事實上大連の市心をなしてゐる此處は、政治的にも經濟的にも亦市の中心をなしてゐるのである。大廣場の中央には「里程標」があつて、滿洲に於ける距離の歸着點となり、又ヤマトホテル前には第一次都督故大島義昌大將の銅像が立つてゐる。それらを取り卷いて芝草の綠も晴々しく、花樹常盤樹に趣を添へ、季節の花なども飾られるなど、大廣場はそれ自體がまた美しい一つの公園である。尙また其の上に埠頭方面への山縣通り、日本橋を經て大連驛、露西亞町方面への大山通り、滿鐵本社前を寺兒溝方面への東公園町通り、西廣場を貫き常盤橋を經て西部大連への西通りなど、合計十本の大通りを集めて大連市交通の核心をもなしてゐるのである。然して大連の銀座と稱される浪速町通りや、大山通り・伊勢町通りなど商業地區を手近に控へ、次第に遠心的に住宅地區・工業地區をめぐらしつゝ市街を塡め盡してゐるのである。

大連に於ける市街の特相は、街路を放射狀に射出せしめたることと、も一つは總ての橋梁が等しく河川に架せられたのでなく、市内交通路短縮のために役立つ陸橋なることである。その内でも驛から埠頭への滿鐵線にまたがる日本橋・港橋の二大跨線橋と、常盤橋とは最も人口に膾炙してゐる。日本橋は通稱露西亞町との連接橋で、橋上

よりは西の空に淸らかな大連富士の姿が望まれ、橋に近く露西亞町寄りに大連驛がある。港橋は埠頭を出た處にあり、大連重要物產取引所と相對し、道は山縣通りとなつて一直線に大廣場に達してゐる。常盤橋はこれ又極めて近代的な陸橋で、市の五方面から通ずる電車の交叉點にあたり、瓦斯・電氣株式會社・連鎖商店街・市營市場・乘合自動車營業所など生活に須要な機關は、總てこの一角に蝟集した感があり、附近には中央公園・電氣遊園もあり、今や將來の中樞地としての重要性を發揮しつゝある處である。就中、**連鎖商店街**は、資本金百五十萬圓の合資會社、總延坪一萬二千坪を有し、二百に餘る各店舖は協同操作を以て仕入・賣出をなし各自負擔單價の輕減と效果の增大を圖る組織にて名實共に大連の誇と稱されてゐる。

大廣場を市心として、最初の企畫以上に完成し、遂に東に行き詰つた目下の大連市は、如何に進展の途をとりつゝあるであらうか。寸時も止まず伸びゆく市の緊域は、今や光風臺・桃源臺一帶の文化住宅を連ねて、南端老虎灘へまで進出し、西部は聖德街と竝んで山寄りの譚家屯以西の町々が生長し、大正廣場から馬蘭河を渡つて臺山屯工業地區へまで市の範圍は擴がり、臺山の裾をめぐつて次第に別莊地星ケ浦に迫つてゐる。一方、海に面するところ北崗子・榮町海岸の埋立が齎らす殷賑も豫想され、地理的に見て市勢が西へと移行しつゝあるは爭はれない事實である。

斯くて自治都市大連は、昭和八年三月末に於て日本人約二萬五千戶の十一萬三千人、滿洲國人四萬九千戶の二十九萬一千人、諸外國人二百五十戶の八百人、合計七萬四千戶の四十萬四千人を抱擁してゐる。

今これら人口の毎十年に於ける膨脹力を見るのに、日露戰爭直後の明治三十九年の一萬八千に對し、大正五年には八萬七千となり、昭和元年には二十萬二千となり、更に今日の數字を見る時、僅々二十數年の歲月乍ら如何に異數なるかゞ判るであらう。

南滿洲鐵道株式會社

滿洲に於ける文化及資源開發の大なる使命を負ひ、又日本民族の進路の開拓者として、近くは殊に滿洲建國の大事業に參劃、渾身の努力を傾倒してゐることは、今日この地を過ぎる何人の眼にもまざ／＼と映るところであらう。事業として鐵道・埠頭・倉庫・工場・炭礦・製鐵・地方經營をもち、施設に、衞生・教育・試驗研究・產業助成等がある。半官半民八億圓の大資本と、三萬四千の社員を擁してゐる。

滿洲資源館

露西亞町の一角兒玉町に所在し、滿鐵の經營である。滿蒙の鑛產・林產・農產・畜產及それらの加工品竝に鐵道・港灣等に關する標本・模型・圖表等を陳列して一般の觀覽に供してゐるから、視察者にとつては、一目滿洲經濟資源の輪廓を把握するに最も都合よく見逃せない所である。

工業博物館

山城町にあり滿洲技術協會の經營にかゝる。館は工業・滿蒙・交通の三館に分れ、滿洲新興工業の炭田の發見など其の功績には偉大なるものが多い。

衞生研究所

下霞町にあつて、傳染病多き滿洲に於て豫防醫學の必要より設けられ、衞生・保健に關する研究檢査及血淸ワクチン・痘苗を製造してゐる。

大連圖書館

滿鐵本社に並び、藏書册數十八萬册、本館は滿洲蒙古中國研究の圖書・漢籍・露文圖書の蒐集に於て特色あり、此の點わが國諸圖書館中稀に見る所である。尙、市内

大廣場を市心として、最初の企畫以上に完成し、遂に東に行き詰つた目下の大連市は、如何に進展の途をとりつゝあるであらうか。寸時も止まず伸びゆく市の聚域は、今や光風臺・桃源臺一帶の文化住宅を連ねて、南端老虎灘へまで進出し、西部は聖德街と竝んで山寄りの譚家屯以西の町々が生長し、大正廣場から馬蘭河を渡つて臺山屯工業地區へまで市の範圍は擴がり、臺山の裾をめぐつて次第に別莊地星ヶ浦に迫つてゐる。一方、海に面するところ北崗子・榮町

使命を負ひ、又日本民族の進路の開拓者として、近くは殊に滿洲建國の大事業に參劃、渾身の努力を傾倒してゐることは、今日この地を過ぎる何人の眼にもまざ〳〵と映るところであらう。事業として鐵道・埠頭・倉庫・工場・炭礦・製鐵・地方經營をもち、施設に、衛生・教育・試驗研究・產業助成等がある。半官半民八億圓の大資本と、三萬四千の社員を擁してゐる。

滿洲資源館

露西亞町の一角兒玉町に所在し、滿鐵の經營である。滿蒙の鑛產・林產・農產・畜產及それらの加工品竝に鐵道・港灣等に關する標本・模型・圖表等を陳列して一般の觀覽に供してゐるから、視察者にとつては、一目滿洲經濟資源の輪廓を把握するに最も都合よく見逃せない所である。

工業博物館

山城町にあり滿洲技術協會の經營にかゝる。館は工業・滿蒙・交通の三館に分れ、滿洲新興工業の基礎となるべき各種蒐集陳列品は、滿洲工業の概念を得るによい。

中央試驗所

伏見臺に所在し、專ら滿洲天與の富源開發と、學究的に福利を增進せしむる目的の爲に存する滿鐵化學實驗所で、モンド瓦斯タールを利用する防臭劑製造・硬化油製造・澱粉製造・高粱酒改良・オイルシエール研究等その業蹟には見るべきもの頗る多く、滿蒙に所在する幾多の製造會社は此の試驗所の成果より生れたと言ふも過言ではない。

地質調査所

滿洲資源館の階上に在つて、中央試驗所と同樣滿鐵に屬して、專ら滿蒙の地質竝に鑛產物に關し基礎的調査に使命を全うせんとするもので、從來なし來つた研究發表は斯界に重きをなしてゐる。鞍山鐵鑛の發見を始め、撫順以外の諸炭田の發見など其の功績には偉大なるものが多い。

衛生研究所

下霞町にあつて、傳染病多き滿洲に於て豫防醫學の必要より設けられ、衛生・保健に關する研究檢査及血清ワクチン・痘苗を製造してゐる。

大連圖書館

滿鐵本社に竝び、藏書册數十八萬册、本館は滿洲蒙古中國研究の圖書・漢籍・露文圖書の蒐集に於て特色あり、此の點わが國諸圖書館中稀に見る所である。尚、市内七箇所の小圖書館が、總て開架式で自由に圖書を閲覽せしめてゐることは、內地の圖書館に比して一段の進步を示すものである。

公學堂

市內に於ける教育機關中特筆すべきは、滿洲國人子弟のため、關東廳が四公學堂を設けて初等教育上遺憾なからしめてゐることで、西崗子・白金町・土佐町・伏見臺に所在してゐる。

鐵道工場

工場の觀るべきものが多い中で、これなどは滿鐵の汽車工場として特殊なるもの、工場面積六十萬坪、日本人千五百人、滿洲國人千四百人の從業員を擁し、獨立の水道があり、發電所があり、製作能力一箇年機關車三〇輛・客車四五輛・貨車六五〇輛・修繕能力機關車三〇〇輛・客車四二〇輛・貨車三六〇〇輛を有してゐる。

大連窯業株式會社

西崗子に在り、關東州内に產する優良豐富なる硅石を原料として、クリスタル硝子・硬質各種硝子等歐洲品に比して些の遜色なきものを製造し、その他耐火煉瓦に就ても頗る優秀の成績を擧げ、販路も極東に普く、地方的原料によつて起つた工業として成功したものゝ一である。因に硝子は一箇年五十萬圓の製造能力を有してゐる。

油房

市の東部と、軍用地寳町一帶の地と、西崗子とに多く存在してゐる。滿洲の生む大量農產物大豆から、豆油と豆粕とを製出する工場を、油房と呼ぶ。油房業者は全滿洲に亙つて約三百の工場を營んでゐるが、その三分の一に近い數が、大連に於ける第一の工業として位置してゐる。豆粕の最大消費先がわが國であり、尚滿洲に於ける農產工業としての代表的のものなることにより、滿洲視察者の足を停めて見學すべき處となつてゐるが、夏から秋にかけては休業することがある。日清・三泰・豐年・小寺・三菱等はその代表的のもので、新式のものは大掛りな機械力で水壓式によつてゐるが、油房內で油にまみれた裸形の苦力の豆粕を扱ふところなどは珍らしい作業振りである。

地方色と施設

大連に於ける地方色の最も特異なるものを擧げるならば、社會施設としては、市の東端東山町にある福昌華工株式會社の**碧山莊華工收容所**、八幡町の人力車夫收容所、竝びに嶺前屯及び白雲山麓に於ける馬車夫收容所等に指を屈することが出來る。碧山莊に收容してゐる苦力の數は、季節的に移動があるが、十二月から翌年五月迄の繁忙期に於て約一萬五千人、六月から十月迄の閑散期に於ても約九千五百人で、山東省から渡來するものが其の九割を占めてゐる。いづれも前述したやうに、大連埠頭に於ける荷役作業をなすものである。會社は彼等の福利を基調とする勞働團體合成組織の編成を實現してゐるわけで、彼等の生活を保證し、その向上發展に資せんが爲の諸般の施設は、眞にこれら勞働者の安樂鄉となつてゐるので、社會・勞働問題の研究上、視察者にとつて亦見逃すことの出來ないものであらう。他の車夫收容所も共に株式組織であり、千四百臺の人力車と七百臺の馬車とは、市內の交通に異彩を放つてゐるが、悉く滿洲國人の仕事である。

戎克（ジャンク）の碇泊に充てられてゐる入船埠頭、俗にいふ**露西亞町波止場**も亦滿洲特異の情趣を有し、戎克によつて致された物資が、石疊の濱に陸揚げされ、檣頭の紅旗は群がりよつた船から一齊に翻り、時

に海上の船から物騒がしいうちにも諧調ある樂音が傳はるなど、特に夕方のこの波止場の氣分には情味の豐かなものがある。戎克による仲繼貿易は、汽船貿易と竝んで仲々に侮り難く、年額十五萬噸、七百二十萬圓に達してゐる。仕向地の大半は滿洲各地で、山東・江蘇・直隷など之に次ぎ、仕向品には豆油及び滿洲特産物が多い。

市内は**奧町**のあたり、風呂・芝居・料理に「滿洲情調」を味ふのも興あることであるが、その特異にして且興味あるものに觸れんとせば、一に社會相の縮圖として纒つてゐる**西崗子**を訪れるに越したことはない。中にも小盜兒市場とさへ言はるゝ**露天市場**からは盜難品の出ることがあり、日本人と滿洲人との生活程度の大きな差から生じた交換經濟の奇現象が見へる。此處は啻に滿洲の日常生活必需品のマーケットであるのみならず、彼等下層民にとつては又となき民衆的娯樂地で、梨園（劇場）書館（妓樓）は元より寄席・見世物小屋・奇術師さては覗きからくり等、口腹の慾を充たすと共によき慰安を得せしむるやうになつてゐるのである。因に全市街中、滿洲國人の大集團は西崗子の全街を始め寺兒溝、千代田町附近、奧町監部通りあたりにあたつて、鮮かに民族的色彩を強めて「滿洲情緒」をあやなしてゐる。

公園

大連市は綠山碧水、それ自體がすでに公園であり、一幅の油繪であるが、惠まれたる大連市は更に幾多の公園をもつ。

中央公園は最近まで西公園、露治時代には猛虎を飼養して虎公園とも呼ばれた公園であるが、現今は常盤橋の南から綠山にかけて五十萬坪、山あり谷あり池あり、幽翠なる林に馬車を馳れば、外國の公園を行くの趣がある。園内の高臺に聳ゆる忠靈塔は、日露戰役に於ける蓋平以南の戰死將卒四千の遺灰を祀り、毎年五月と九月とに盛大なる招魂祭が行はれる。尙園内には滿鐵・實業兩野球グラウンド・弓場・馬場・庭球場等の各種スポーツ場を持ち、就中野球グラウンドは各々觀衆三萬を收容し、かの譚家屯に一萬坪、工費三十二萬圓を投じ、五萬の收容力を有する模範的な**大連運動場**と相對して大連スポーツ界に氣を吐いてゐる。

中央公園に隣接する高地、伏見臺にある**電氣遊園**は、人工的有料公園で、メリーゴーラウンドや植物溫室、小動物の檻、圖書館なども備り、園の高臺から俯瞰すれば大連市は一眸のうちに集る。なほ電氣遊園は星ケ浦と共に大連に於ける櫻の名所として市民の行樂地でもある。露西亞町にある**北公園**は露治時代からのもので、兒童の

嬉戯に適した設備が多い。

星ヶ浦

大連近郊の勝景地としては、普通に星ヶ浦と老虎灘とが擧げられてゐる。星ヶ浦は纎細瀬戸内海を思はす女性的の風光に於て、老虎灘は朴訥なる野人の風趣をもつ男性美を以て顯はれ、共に滿洲の歌枕としても亦有名である。

滿洲に於ける唯一の冠絶した大公園星ヶ浦は、市の西南里餘、市内電車は此處まで延びて、黑石礁を終點とする。大連富士の山麓十五萬坪のゴルフリンクスの綠なす芝生と、數個の繪のやうな小島を配した群青の海との間にひらけた三十三萬坪の遊園地は、滿鐵會社の經營。初代滿鐵總裁故後藤新平伯の銅像から南面して海中に突き出た岬角――霞ヶ丘を堺として、東はヤマトホテルとその別莊を有する曙（あけぼの）の濱、西は料亭「星の家」のある黄昏（たそがれ）の濱に別れ、共に大きく弧を描いた長汀曲浦、波に洗はれた小石が白く美しく敷かれ、老虎灘の靜浦・旅順線の夏家河子と共に理想的な海水浴場を形づくつてゐる。霞ヶ丘の四阿に立てば、右方岬角の彼方には黑石礁の水泳場、左方やゝ遠くには天の川臨海浴場、これら星ヶ浦といふ地名を初め、天ノ川も園内にある雲井とよぶ井戸も皆、その昔天からこの濱に降つた星が暗礁となつたと稱はれる黑石礁屯の傳說に因んだ名である。

遙か頭を廻らして背面すれば、山麓電車道に沿ふて坦々砥の如き道路が、大連より來り、黑石礁方面へ消えてゐるのを見るであらう。即ち大連と旅順とを結ぶ所謂旅大道路である。香港の島巡りよりも快よいと言はれ、黑石礁・凌水寺・小平島・龍王塘・玉の浦等の「旅大八景」は轉瞬去來、大連より自動車を馳れば五十分足らずで達する。因みに上記の凌水寺・小平島・龍王塘などは、亦恰好の遠足行樂地として顯はれてゐる。（旅大道路に關しては當課發行の都市案內「旅順」を參照されたい）

老虎灘と傅家庄

老虎灘は常盤橋から南する市内電車の終點にある。老虎窪に嘯くに似た地貌の奇に因んで巧に附けられた地名で、總ての線は星ヶ浦のそれに比して荒く、景觀の奇と釣魚と淸らかな海水浴とに普く知られて淸遊地となつてゐる。金鱗躍る月明に舟を傭つて乘り出せば、魚は忽ち籠に滿ち、風は涼冷にして酒杯を呼ぶに相應しい。かの大陸特有、四五尺にも及ぶ月は、老虎に映えて莊重の氣はいやが上にも横溢する。此處は又邦人漁業者の根據地でもある。老虎灘への途中、桃源臺から右へ二十餘町、田舍ぢみた馬車鐵道（片道十五錢）に搖られて行けば三十分、傅家庄の海岸へ出る。未だ普く知られてゐないが海水浴場として淸いこと他にその比を見ない。

ダルニー時代

以上今日の大連を觀じ來つて、玆に二十數年の歳月を遡つたダルニー時代を忍ぶのも無益ではなからう。露西亞が歐洲方面に進出の途を斷たれて、一八九八年（明治三十一年）に締結した露淸條約により、極東の不凍港として最初に選定される以前の此の地は、約十七戸の支那部落東青泥窪（チンニーワー）・約二十戸の西青泥窪・十餘戸の漁村黑咀子（ヘイチュイツ）及十二三戸の西崗子が山神廟や龍王廟を取卷きながら散在してゐた荒地に過ぎず、露西亞は此處に市名「ダーリニー（遠方の義）」を附して市街創設を企てたのである。第一期の計畫として一千萬留の巨資が此地に注入され、更に三千萬留を投資する第二期に進む當初、日露の國交斷絶し、遂に大連は何等戰禍を蒙る事はなかつたが、人口四萬に達し、都市計畫の一端を實現したばかりで、之をわが國が繼承したのである。即ち現在の通稱露西亞町がそれであつて、これは既に當時立派に出來あがつてゐた

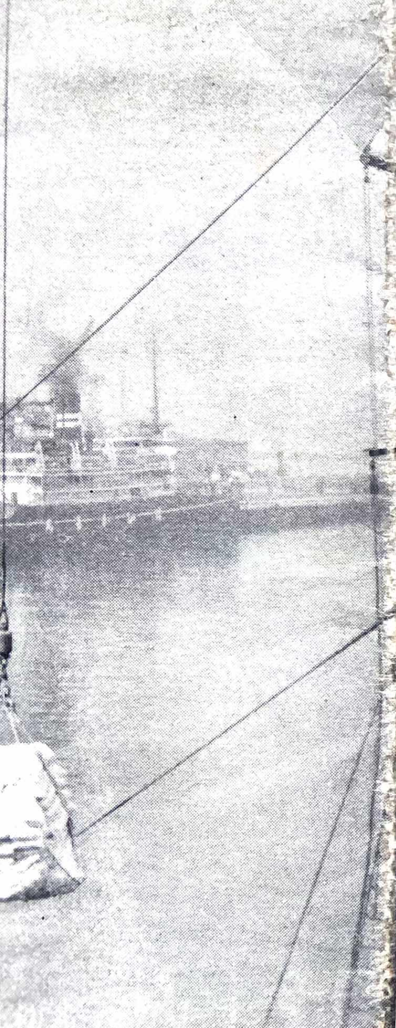
今日市内の處々に殘存する露治時代の主なる遺物としては、前述したやうに露西亞町の殆んど全般の建築物、その他に滿鐵本社（東公園町）・大連稅關（山縣通）・海務協會（寺內通）・警察署（大廣場）・土佐町に殘る元露國監獄の建物・乃木町の六角堂・北公園内の丸太建等があつて當時の面影を偲ぶよすがとなつてゐるが、尙老虎灘街道の王家屯に行けば希臘正敎の禮拜堂があり、その露人の塋域には日露役にあたり、大連灣口に水雷を敷設せんとして誤つて自沈したエセニイ號乘組員の墓碑など、一つの史料となつて現存してゐる。

視察に就て

●**徑路**　滿洲資源館―山縣通―埠頭―油房―華工收容所（碧山莊）―滿鐵本社前―大廣場―中央公園―露天市場―星ヶ浦

右は普通に選ばれる視察の一日の行程であるが、時間の餘裕又は視察の目的により左記の箇所をも適宜斟酌されるがよい。

連



道株式會社

た岬角――霞ヶ丘を堺として、東はヤマトホテルとその別莊を有する曙(あけぼの)の濱、西は料亭「星の家」のある黄昏(たそがれ)の濱に別れ、共に大きく弧を描いた長汀曲浦、波に洗はれた小石が白く美しく敷かれ、老虎灘の靜浦・旅順線の夏家河子と共に理想的な海水浴場を形づくつてゐる。霞ヶ丘の四阿に立てば、右方岬角の彼方には黑石礁の水泳場、左方や﹅遠くには天の川臨海浴場、これら星ヶ浦といふ地名を初め、天ノ川も園内にある雲井とよぶ井戸も皆、その昔天からこの濱に降つた星が暗礁となつたと稱はれる黑石礁屯の傳說に因んだ名である。

景觀の奇と釣魚と淸らかな海水浴とに普く知られて淸遊地となつてゐる。金鱗躍る月明に舟を傭つて乘り出せば、魚は忽ち籠に滿ち、風は凉冷にして酒杯を呼ぶに相應しい。かの大陸特有、四五尺にも及ぶ月は、老虎に映えて莊重の氣はいやが上にも橫溢する。此處は又邦人漁業者の根據地でもある。老虎灘への途中、桃源臺から右へ二十餘町、田舍ぢみた馬車鐵道(片道十五錢)に揺られて行けば三十分、傅家庄の海岸へ出る。未だ普く知られてゐないが海水浴場として淸いこと他にその比を見ない。

ダルニー時代

以上今日の大連を觀じ來つて、茲に二十數年の歲月を遡つたダルニー時代を忍ぶのも無益ではなからう。露西亞が歐洲方面に進出の途を斷たれて、一八九八年(明治三十一年)に締結した露淸條約により、極東の不凍港として最初に選定される以前の此の地は、約十七戶の支那部落東靑泥窪(チンニーワー)・約二十戶の西靑泥窪・十餘戶の漁村黑咀子(ヘイチユイツ)及十二三戶の西崗子が山神廟や龍王廟を取卷きながら散在してゐた荒地に過ぎず、露西亞は此處に市名ダーリニー(遠方の義)」を附して市街創設を企てたのである。第一期の計畫として一千萬留の巨資が此地に注入され、更に三千萬留を投資する第二期に進む當初、日露の國交斷絕し、遂に大連は何等戰禍を蒙る事はなかつたが、人口四萬に達し、都市計畫の一端を實現したばかりで、之をわが國が繼承したのである。卽ち現在の通稱露西亞町がそれであつて、これは既に當時立派に出來あがつてゐたが、他に百戶に滿たない民家があり、埠頭の如きも僅に一埠頭と捨石工事とだけで、殆んど都市としては言ふに足らぬ狀況であつた。それを往時露西亞が最初に企畫した以上に完成せしめて、大都市の齎らす限りなき進展を外的にも內的にも逐次具現しつゝある今日の市勢に見比べるならば、全く隔世の感なきを得ないであらう。

今日市內の處々に殘存する露治時代の主なる遺物としては、前述したやうに露西亞町の殆んど全般の建築物、その他に滿鐵本社(東公園町)・大連稅關(山縣通)・海務協會(寺內通)・警察署(大廣場)・土佐町に殘る元露國監獄の建物・乃木町の六角堂・北公園內の丸太建等があつて當時の面影を偲ぶよすがとなつてゐるが、尙老虎灘街道の王家屯に行けば希臘正敎の禮拜堂があり、その露人の塋域には日露役にあたり、大連灣口に水雷を敷設せんとして誤つて自沈したエセニイ號乘組員の墓碑など、一つの史料となつて現存してゐる。

視察に就て

●**徑路** 滿洲資源館―山縣通―埠頭―油房―華工收容所(碧山莊)―滿鐵本社前―大廣場―中央公園―露天市場―星ヶ浦

右は普通に選ばれる視察の一日の行程であるが、時間の餘裕又は視察の目的により左記の箇所をも適宜斟酌されるがよい。

大連重要物產取引所・錢鈔取引所・工業博物館・西崗子公學堂・露西亞町埠頭・電氣遊園・遊覽道路・老虎灘

●**市內の交通機關** 市內の交通機關としては電車・自動車・乘合自動車・露治時代の遺物たる馬車並人力車を擧げることが出來る。電車は全線片道五錢、乘合自動車は一區五錢、タクシーは四人乘市內

一回五十錢、一時間二圓半、乘合自動車は旅順行一圓、金州行五十錢、馬車は二人乘一區(十町以內)十四錢(三區以上一區又は未滿を增す每に十錢を加ふ)半日一圓四十錢、一日二圓八十錢、人力車は馬車の半額である。因に馬車は一臺の料金で三人迄は樂に乘れる。

●**通貨** 關東州內は汎く日本貨幣、特に朝鮮銀行劵が廣く用ひられてゐる。

●**土產** 支那製品(玩具、文房具、反物、茶、素麵、麻雀)菓子、寶石、洋酒、硝子並陶磁器、煙草、寫眞機、望遠鏡

●**要塞地帶** 大連及その近郊は要塞地帶で、撮影・模寫・測量・模造錄取・航空等は、要塞司令官の許可を要することになつてゐるから、旅行者は特に注意すべきである。

●**視察上の便宜** を得るには、大連驛鐵道案內所(電話四〇〇六)ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー大連案內所(電話五五五四 四七一三番)が伊勢町と浪速町との角にあり、紀伊町に滿洲文化協會(電三八〇五)他に東公園町滿鐵本社內の營業課宣傳係(電二〇二三六五)がある。

旅館

●**滿鐵直營大連ヤマトホテル** 市の中心大廣場にある高壯優雅なルネツサンス式建築、善美を盡した施設は蓋東洋に於ける代表的のものである。(歐式)三圓―三〇圓(米式)八圓―三五圓、食事料(洋食)朝一圓、晝二圓、夕二圓半

●**滿鐵直營星ヶ浦ヤマトホテル** 郊外星ヶ浦海濱、眺望絕佳の高臺にあり、避暑、避寒に東洋有數のリゾートホテルである。(歐式)四圓半―一二圓(米式)一〇圓半―一八圓

旅館名	所在地	室料・宿泊料		晝食料
遼東ホテル	大山通	室料	三・〇〇円以上	一・五〇円
花屋ホテル	信濃町	宿泊料	四・〇〇同	一・五〇以上
天滿屋ホテル	常盤橋	室料	二・五〇同	一・〇〇
ナニワホテル	伊勢町	同	二・〇〇同	一・〇〇
春田旅館	監部通	宿泊料	四・〇〇同	一・〇〇以上
磐城ホテル	監部通	同	四・〇〇同	一・〇〇同
鐵西旅館	信濃町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
東洋ホテル	伊勢町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
南滿ホテル	東郷町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
東旅館	信濃町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
日本橋ホテル	大山通	同	四・〇〇同	一・〇〇同
東郷旅館	信濃町	同	四・〇〇同	一・〇〇同
錦水ホテル	信濃町	同	四・〇〇同	一・〇〇同

茶代不要、使用人心付は支拂額の一割乃至二割

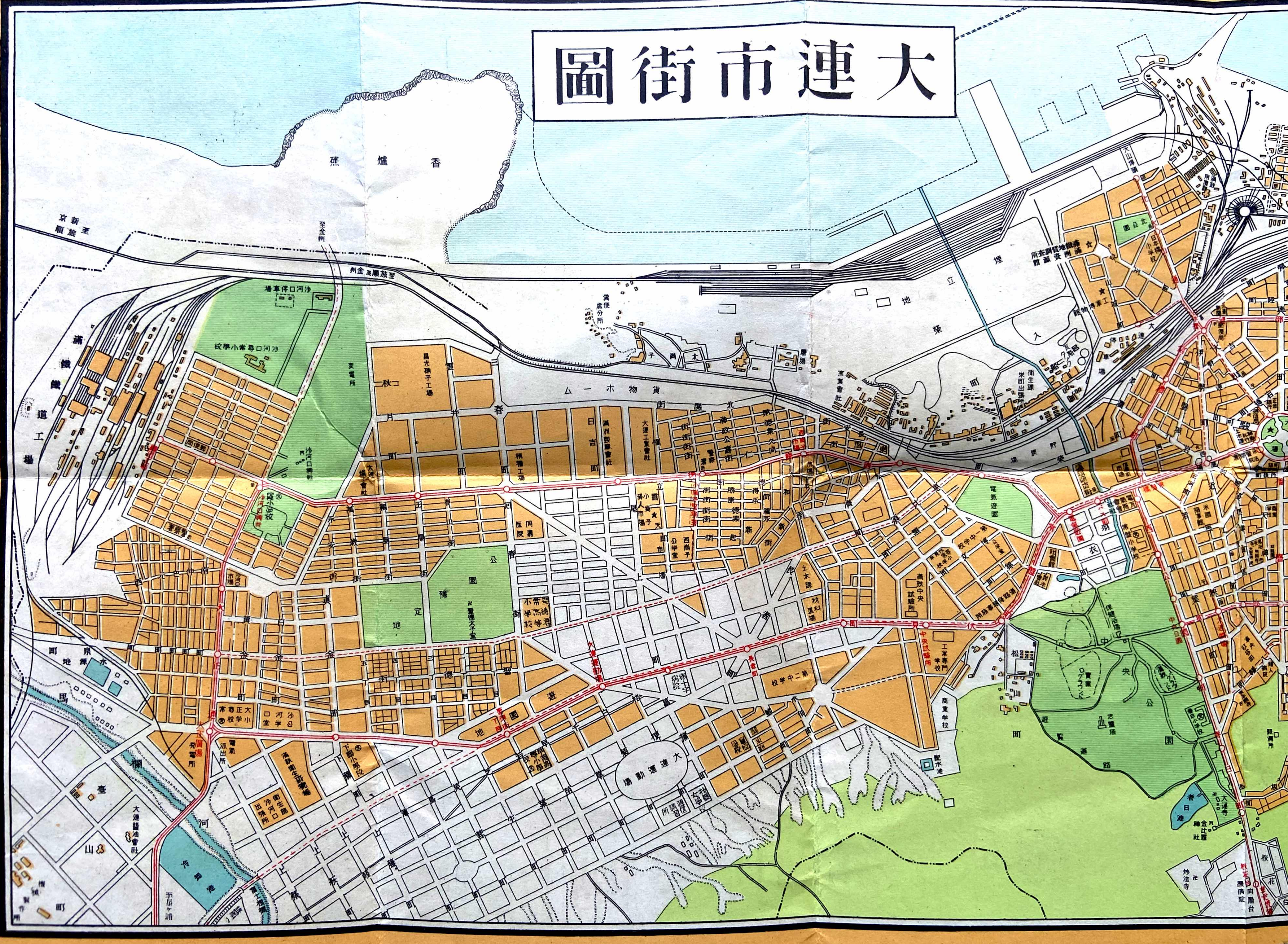
左記に於て**朝鮮・滿洲に關する**旅行・通關・貨物等の御質問・並びに事情講演・活動寫眞の御需めに應じます。

東京鮮滿案內所 丸ノ內ビルデイング內 電丸ノ內(自三一三一 至三一三五)

大阪鮮滿案內所 東區堺筋安土町 電本町(一七〇〇 一七〇一)

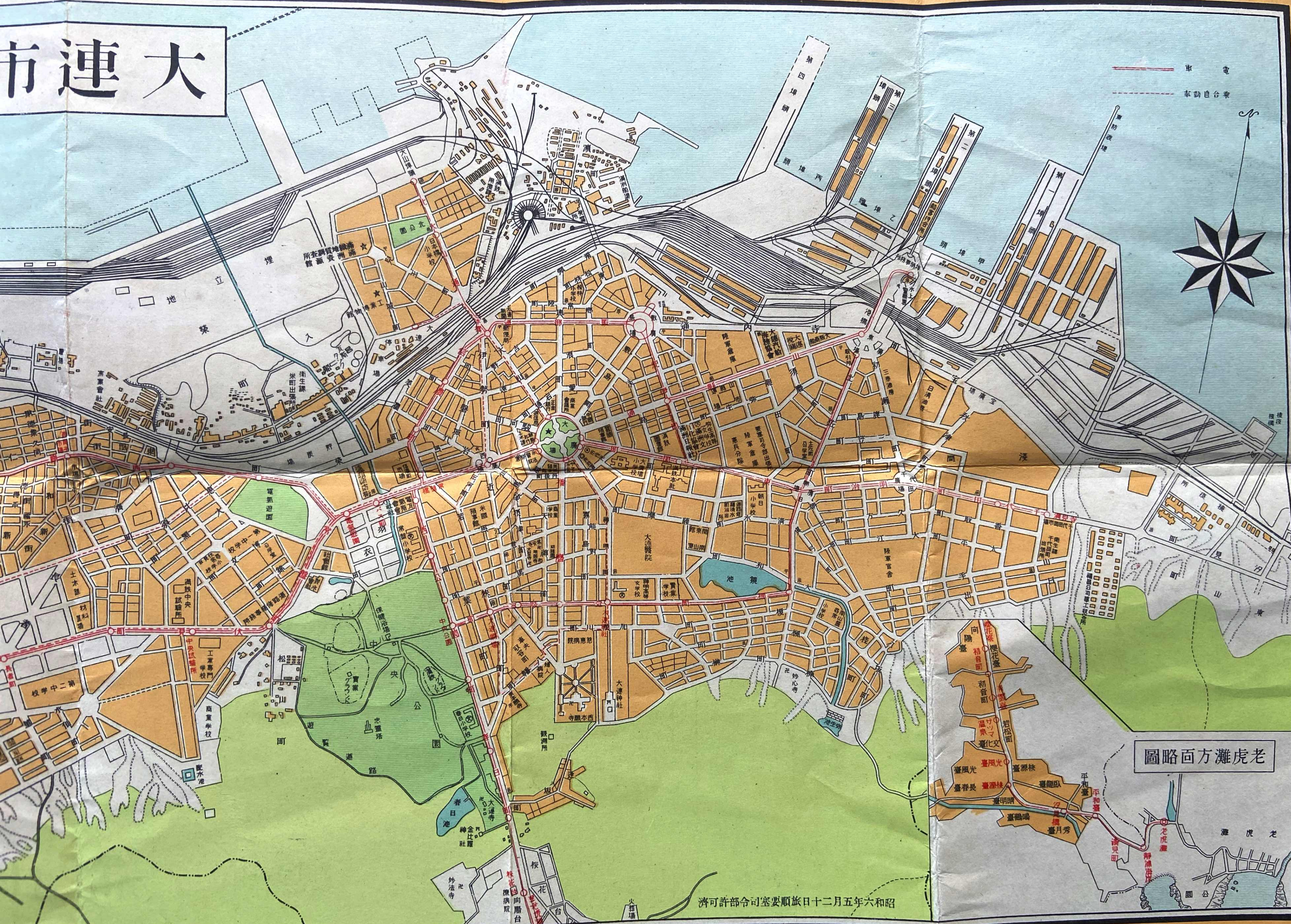
下關鮮滿案內所 下關驛前 電(一九六二 一二五七)

八年五月(營業課宣傳係)二萬



大連市街圖
香爐礁
沙河口停車場
沙河口尋常小學校
貨物ホーム
埋立地
滿鐵鐵道工場
大連運動場
中央公園
第二中學校
春日池

大連港全景





貨物ホーム
北関街
長安街
東関街
屠場
窯業會社
日吉町
滿洲製麻會社
大連工業會社
精糖工場
警察署
西崗子市場
市場
同壽醫院
西崗子公學堂
土木課
材料置場
滿鉄中央試驗所
第一中學校
博文町
伏見臺尋常小學校
常盤尋常高等小學校
伏見町
中央試驗所



大廣場
満鐵本社
大廣場小学校
大連醫院
鏡池
関東館
南山寮
神明高等女学校
實業学校
朝日小学校
陸軍倉庫
要塞司令部出張所
憲兵分隊
弥生高等女学校
満洲文化協會
満洲日報社
満鐵圖書館
中國銀行
商業會議所
正金銀行
遞信局
土木課
警察署
法院
英國領事館
米國領事館
商業学校
幼稚園
常盤小学校
電氣遊園
社會館
保健浴場
連鎖商店街
信濃町市場
工業博物館
大連汽船海務協會
郵便局
大連新聞
松林小学校
大連停車場
貯炭場
敷島廣場
西廣場
常盤橋



第四埠頭
第三埠頭
第二埠頭
第一埠頭
東防波堤
西埠頭
乙埠頭
甲埠頭
船客待合所
滿洲船渠
水上警察署
大連汽船
海務協會
大阪商船
大連税關
寺内通
敷島廣場
陸軍倉庫
三泰油房
日清油房
大廣場
滿洲日日新聞社
滿鐵本社
朝日小學校
千代田廣場
淺間町
大連醫院
鏡池
實業學校
神明高等女學校
陸軍官舍
慈惠病院
西本願寺
大連神社
觀測所
妙心寺
彌生池
向陽臺
櫻花臺
初音町
若松町
文化臺
光風臺
桃源臺
臥龍臺
長春臺
晴明臺
鳴鶴臺
秀月臺
平和臺
清見町



大
第四埠頭
西埠頭
大山埠頭
濱町
満洲港務
北公園
日本橋小学校
満鉄地質調査所
満洲資源館
工業博物館
埋立
栄町
瓦斯タンク
衛生課栄町出張所
停車場
貯炭場
大広場
郵便局
朝鮮銀行
横浜正金銀行
商業会議所
満鉄図書館
満洲日報社
陸軍倉庫
憲兵分隊
要塞司令部出張所
満鉄本社
大広場小学校
朝日小学校
米国領事館
常盤小学校
電気遊園
第一中学校
大連医院
鏡池
神明高等女学校
実業学校
中央公園
保健浴場
実業グラウンド
忠霊塔
遊覧道路
春日小学校
春日池
大連寺
金比羅神社
観測所
慈恵病院
西本願寺
大連神社
妙心寺
工業専門学校
商業学校
中央試験所
配水池

大連市街圖


香
埋立地
築
糞便處分所
北崗子
貨物ホーム
春日町
日吉町
滿洲製藥會社
大連工業會社
昌光硝子工場
精穀工場
同壽醫院
公園
聖德太子堂
大連運動場
第二中學校
赤十字病院
土木課
材料置場
滿鐵中央試驗所
中央試驗所
工業專門學校
商業學校
第一中學校
電氣遊園
社會館
西崗子公學堂
衛生課
遊園地
配水池
實業グラウンド

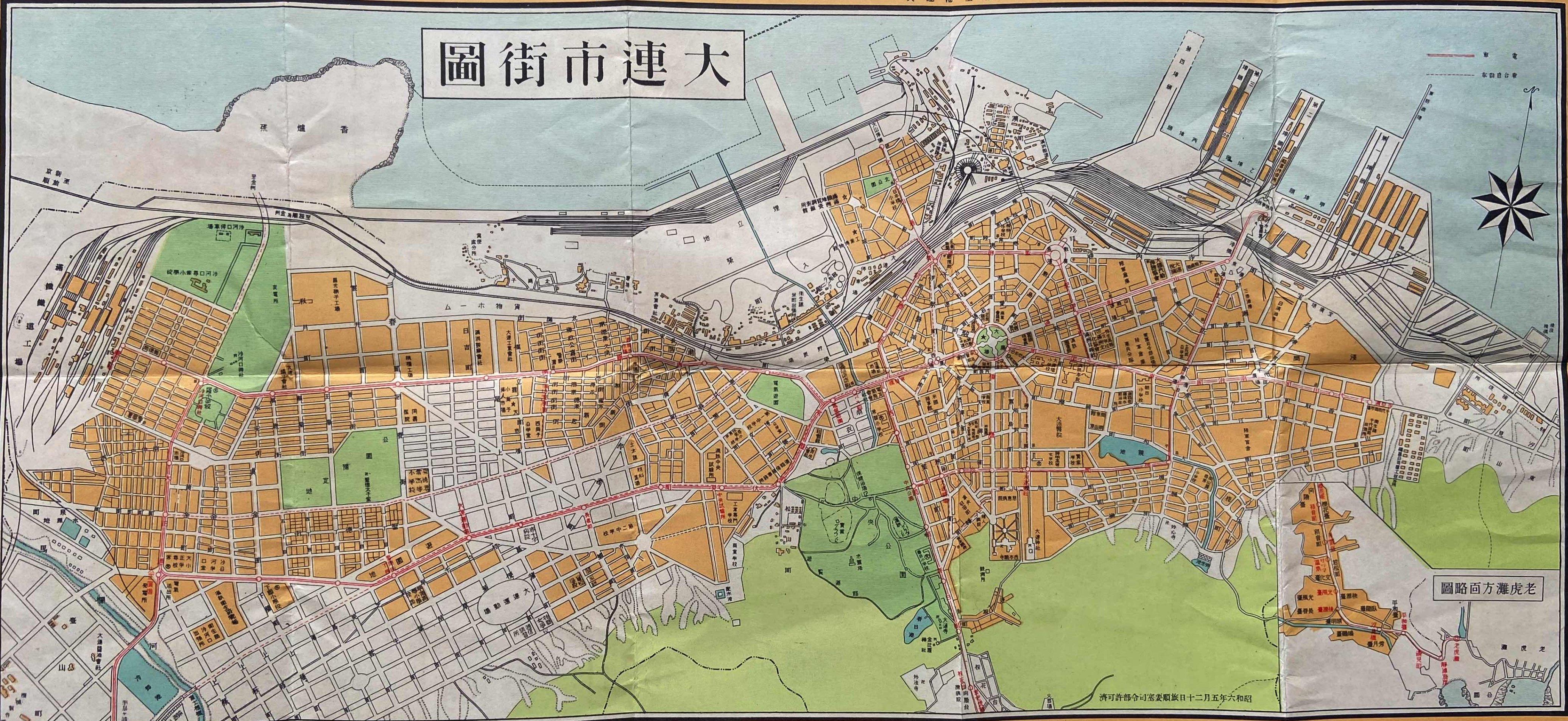

街圖
香爐礁
至旅順新京
至金州
至旅順金州
沙河口停車場
沙河口尋常小學校
變電所
滿鐵鐵道工場
昌光硝子工場
物ホーム
春日町
日吉町
滿洲製麻會社
大連工業會社
精穀工場
郵便局
警察署
沙河口神社
同善醫院
公園
豫定地
聖德太子堂
水源地
泉町
沙河口市場
沙河口公學堂
大正尋常小學校
電氣派出所
發電所
滿鐵衛生研究所
沙河口衛生出張所
大連醬油會社
河
機械製作所
遊園地
運動場

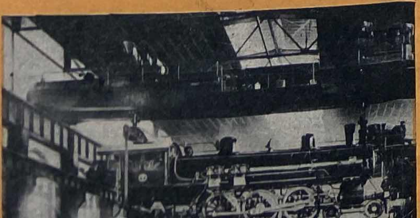


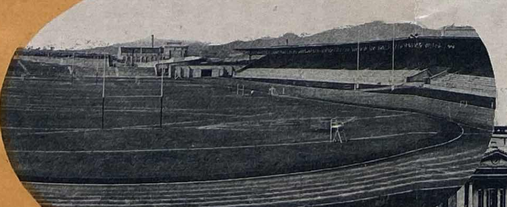
大廣場トヤマトホテル



大連港全景

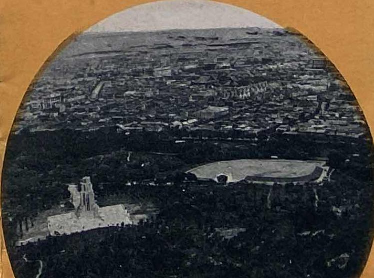














大廣場ト ヤマトホテル

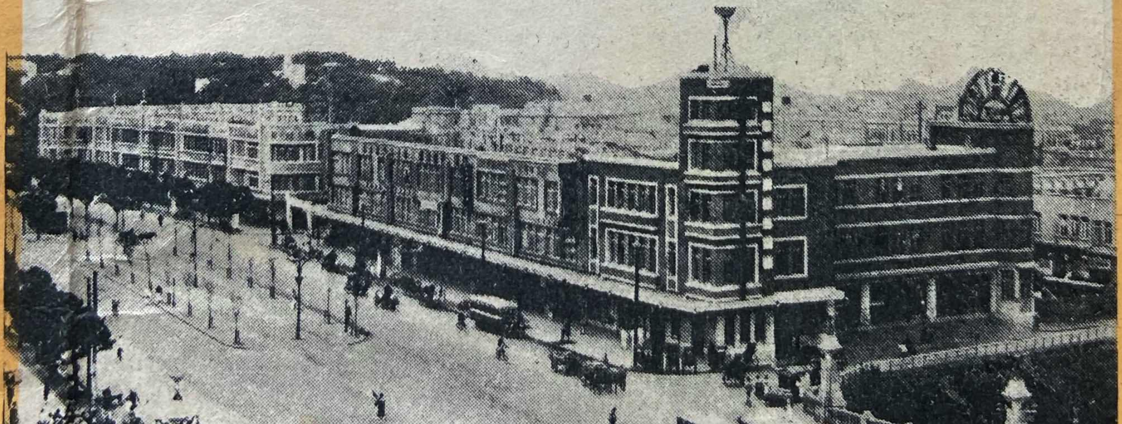






星　ヶ　浦





連　鎖　商　店　街

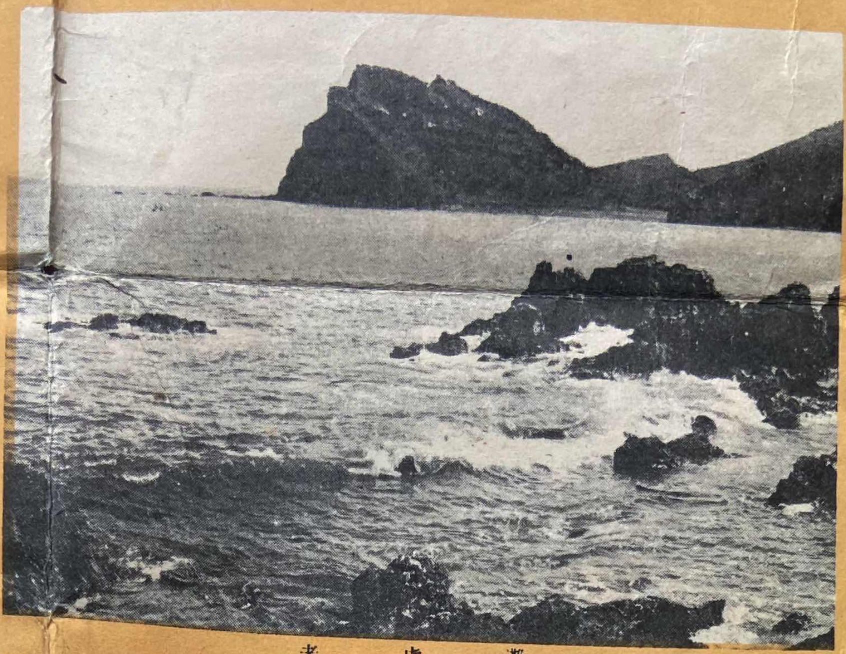




連鎖商店街



老虎灘方面略圖



老虎灘



滿洲資源館

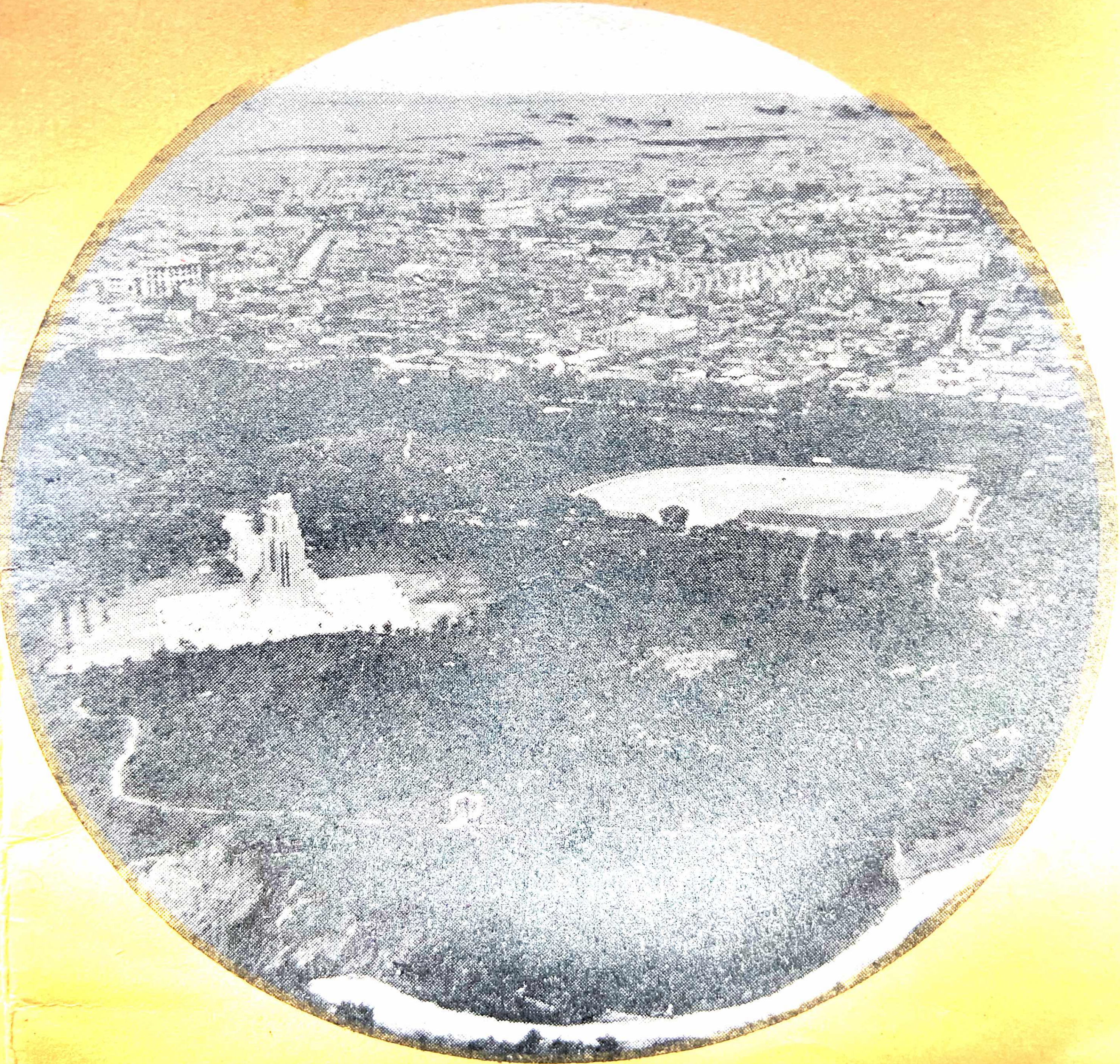


公園



露西亞町碼頭





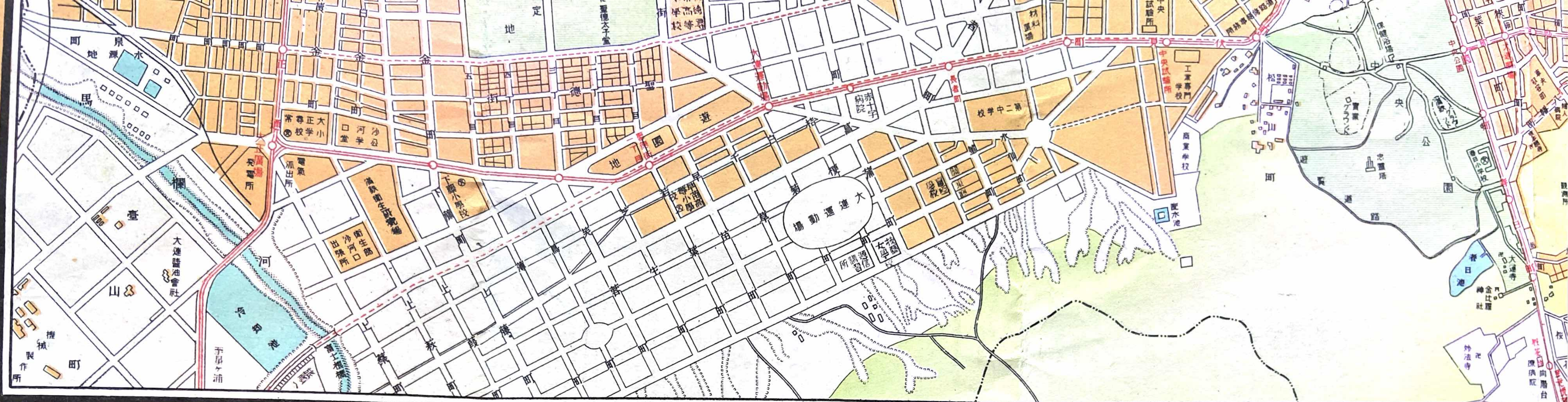
中央公園

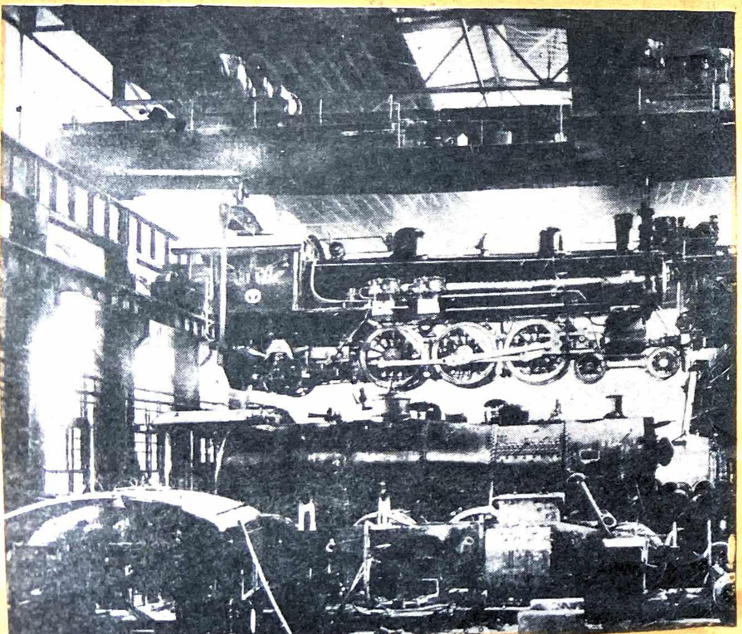
[redacted]



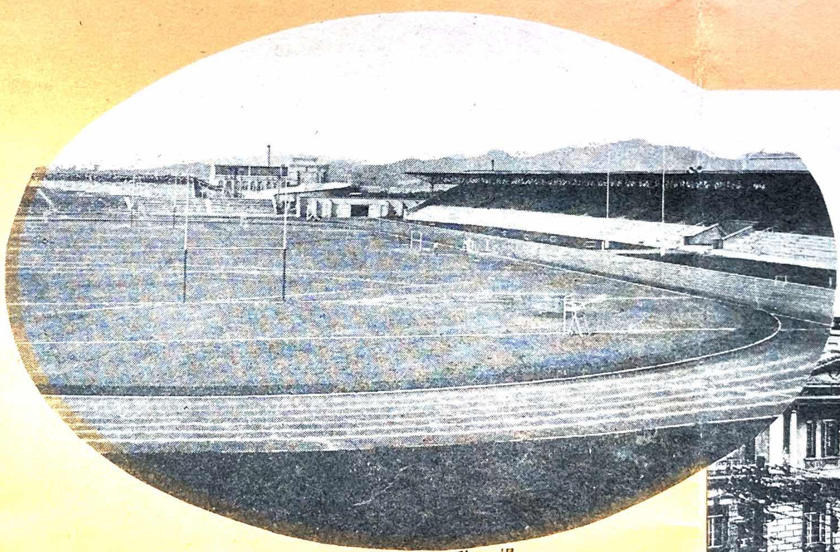


浪速町通

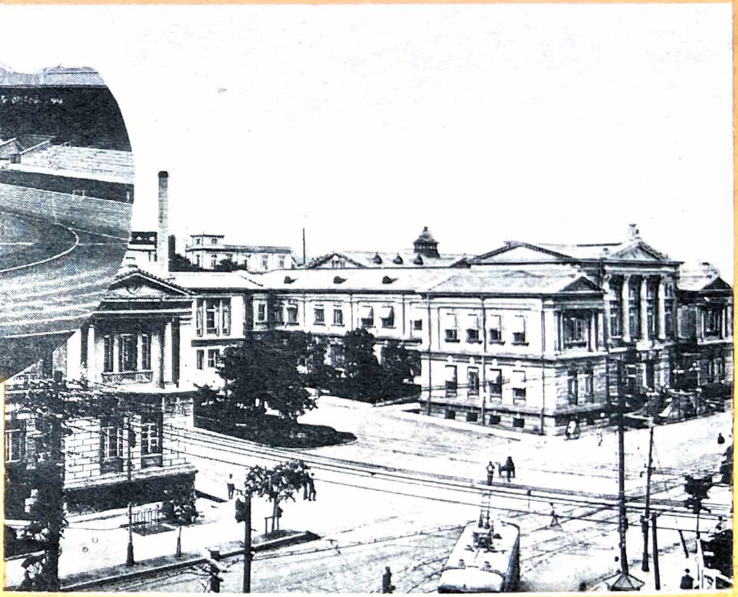




鉄道工場



大連運動場



満鉄本社